

調査研究報告書の要約

書名	先進国に見る競争力強化策の調査研究（Ⅱ）				
発行機関名	社団法人 日本機械工業連合会				
発行年	H17(2005)	頁数	60頁	版型	A4

【目次】

1. はじめに
2. 調査対象地域（バーデン・ヴュルテンベルグ州、バイエルン州）の概要
3. ドイツ機械メーカーの経営戦略
4. 競争力の基盤となる背景
5. 我が国機械産業の目指すべき方向性

【要約】

ドイツ機械産業は、同国内の製造業の中でも最大規模の産業であり、製品には汎用品が少ないことが特徴として挙げられる。また生産額全体の6割が国外で販売されており、多くのドイツ製機械が世界市場において高いシェアを占めている。

こうしたドイツ機械産業の高い国際競争力の背景を把握するため、ドイツ機械メーカー（プラスチック成型機械、研削盤、包装機械、エレベータ、鋳物、工作機械、ディーゼルエンジン、産業用ロボット）の経営戦略についてヒアリング調査を行うと共に、職業教育制度、産学連携の状況についても現地調査を行った。

またドイツでは機械産業に対する社会の意識の高さも、機械産業の強さを支えており、日本の機械産業の目指すべき方向として、我が国も機械産業の重要性について、広く社会全体にアピールしていく場を設けて社会に啓蒙していくことが求められている。